



5月

保育室  
すまいるだより

2019.5.7

保育室 すまいる

<月のテーマ：心にとめて>

年齢別 月の保育のねらい

<1歳児>

- 周りの様子に気づく。
- 保育者のそばで遊びを見つける。

<2歳児>

- 自然の中で花や虫を見つけ、保育者に伝えようとする。
- 自分の思いを自分らしく表現する。

<3歳児>

- 簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを通して友だちとのかかわりを楽しむ。
- 落ち着ける場所や好きな遊びを見つけ遊ぶ

<4歳児>

- 友だちや保育者と関わり遊ぶ中で自分の気持ちを相手に表現する。
- いろいろなことに興味や関心を持って遊ぶ。

<5歳児>

- 遊びの中で予測をしたり試したりする。
- 遊びや活動を通して友だちの気持ちや考えに気づく。

<学童>

- 学校と保育室との生活リズムがわかり、自分で時間を使うことができるようになる。
- ・保育室に来る → 宿題をする → おやつを（作る）食べる → 遊ぶ  
→ 片付ける → お迎えが来て帰る



<イメージの世界を楽しむには・・・砂・水・粘土などの素材で遊ぶこと・・・>

亀岡公園での遊びの一場面です。砂・水が揃っている公園が近くにあるので、活用しないのは勿体無い。しゃべる・バケツ等を持って保育室から亀岡公園に移動するのもまた、楽しいです。公園につくと、早速、シャベルで砂を掘って、砂を山にして・・・川を作って、水道から水を運んできて・・・友だちとイメージの共有ができると川作りも山作りもダイナミックにできることに気づいた年長さんたち、「こうやって、あーやって・・・」の指示も出てきました。「こう作りたいから、こうやってくれない？」という会話も聞こえてきました。イメージを共有しながら、つくっているのですね。その側で、2歳の子どもたちは、年長さんたちがしている遊びを見て、真似をして砂と水に挑んでいます。「あーあ、崩れちゃった…」「直せばいいさ」「もっと、強く作ろう！」それができる（何度でも作り直せる）のが砂遊びのいいところ。どんどん、イメージも変わってきます。「あー、楽しかった。また、明日もやろう！！」が帰りの合言葉です。

